

平成25年度

教育委員会の活動状況報告書

山梨県教育委員会

目 次

まえがき	1
第1 教育委員会の活動状況	2
1 教育委員会会議の開催状況	2
2 一日教育委員会等の開催状況	8
3 その他の活動状況	12
第2 教育行政の点検・評価	15
1 評価の概要	15
2 内部評価	16
3 アドバイザー評価（事務事業）	17
4 アドバイザー評価（公共施設）	20
別表1 内部評価結果一覧	22
別表2 アドバイザー評価（事務事業）結果一覧	23
別表3 アドバイザー評価（公共施設）結果一覧	24
第3 「やまなしの教育振興プラン」について	25
1 「やまなしの教育振興プラン」の施策体系と主な事業	26
2 「やまなしの教育振興プラン」の進捗状況	32

まえがき

県教育委員会では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について自ら点検・評価を行い、その結果を報告書として取りまとめました。本報告書は、「教育委員会の活動状況」、「教育行政の点検・評価」、「やまなしの教育振興プランについて」の3部構成となっております。

近年、ライフスタイルや価値観の多様化、少子高齢化・核家族化、雇用形態の多様化など、教育を取り巻く環境が大きく変化する中であって、子どもの学ぶ意欲や学力・体力の低下、いじめや不登校の増加など、様々な問題が指摘されています。

このような状況を受け、本県教育委員会では、平成21年度から平成25年度までの5年間を計画期間とする「やまなしの教育振興プラン」を策定し、これらの諸課題に取り組んでいるところであります。本報告書の第3部「やまなしの教育振興プランの状況について」は、その計画期間の4年目の点検・評価となっております。

また、このプランが平成25年度で終期を迎えることから、本県教育の一層の振興を図るため、未来を拓く人づくりを基本理念とした「新やまなしの教育振興プラン」の策定を現在進めているところです。

本報告書の結果を踏まえ、本県教育の一層の振興に努めて参りますので、今後とも県民の皆様の、御理解と御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成26年2月

山梨県教育委員会

第1 教育委員会の活動状況

1 教育委員会会議の開催状況

平成25年2月1日～平成26年1月末

会議開催回数

定例会	18回
臨時会	3回

付議事項数

議案	62件
報告事項	15件
その他報告	33件

平成24年度

第16回定例会（2月8日）

・議案（6件）

教育委員会の活動状況報告書について

平成24年度2月補正予算概要

平成25年度当初予算概要

山梨県教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例

山梨県スポーツ推進審議会委員の委嘱について

山梨県教育委員会の事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例

・その他報告（2件）

第68回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会の結果について

第68回国民体育大会冬季大会スキー競技会の山梨県選手団の編成について

第2回臨時会（2月27日）

・議案（1件）

公立小学校校長の人事異動について

第17回定例会（3月11日）

・議案（4件）

職員の処分について

小中学校長の人事異動について

職員の処分について

県立学校長の人事異動について

・報告事項（3件）

小中学校教頭の人事異動について

指導が不適切な教員について

県立学校教頭の人事異動について

・その他報告 (5件)

平成24年度山梨ことぶき勸学院・大学院の卒業式および大学院閉校式について

公益財団法人山梨県体育協会県補助金過剰受給等に係る再発防止策等に向けた取り組みについて

「平成24年度山梨県新体力テスト・健康実態調査」調査結果の概要について

平成24年(2012)「やまなしスポーツ賞」について

第68回国民体育大会冬季大会スキー競技会の結果等について

第18回定例会(3月22日)

・議案 (1件)

文学館館長の人事について

・その他報告 (1件)

「青少年の意識と行動に関する調査報告」について

第3回臨時会(3月25日)

・議案 (2件)

山梨県教育委員会事務局及び山梨県教育委員会の所管に属する教育機関の職員の職の設置に関する規則及び山梨県教育庁組織規則の一部を改正する規則

教育委員会所属長等の人事について

・報告事項 (1件)

県立学校事務長等の人事について

平成25年度

第1回定例会(4月10日)

・議案 (2件)

平成25年度山梨県教科用図書選定審議会委員の委嘱・任命について

平成25年度山梨県教科用図書選定審議会へ諮問する事項について

・その他報告 (1件)

平成25年度山梨ことぶき勸学院の入学式について

第2回定例会(5月9日)

・議案 (3件)

「新やまなしの教育振興プラン(仮称)策定委員会」の設置について

平成26年度公立高等学校入学者選抜の基本事項について

山梨県立学校設置条例の一部を改正する条例

・報告事項 (1件)

体罰に係る実態把握の結果について

・その他報告 (2件)

平成26年度採用山梨県公立学校教員選考検査実施要項について

「富士山」世界文化遺産登録に係るイコモスによる評価結果及び勧告について

第3回定例会（5月28日）

・議案（5件）

平成25年度6月補正予算概要

山梨県職員給与条例等の一部を改正する条例

山梨県高等学校学則の一部を改正する規則

山梨県社会教育委員の委嘱・任命について

山梨県図書館協議会委員の委嘱・任命について

・報告事項（1件）

平成25年度公立高等学校入学者選抜学力検査成績調査結果報告について

・その他報告（1件）

平成26年度山梨県公立高等学校入学者選抜における前期募集選抜方法について

第1回臨時会（6月10日）

・議案（1件）

山梨県職員の給与等の臨時特例に関する条例

第4回定例会（6月26日）

・議案（12件）

教育委員会所属長等の人事について

職員の処分について

山梨県立高等学校学則の一部を改正する規則

山梨県立学校処務規程の一部を改正する訓令

山梨県指定文化財の指定について

山梨県指定文化財の指定について

山梨県指定文化財の指定について

山梨県指定文化財の指定解除について

山梨県指定文化財の指定解除について

山梨県立美術館協議会委員の委嘱について

山梨県考古博物館協議会委員の委嘱・任命について

山梨県文学館協議会委員の委嘱について

・報告事項（2件）

平成25年度山梨県教科用図書選定審議会の答申について

体罰に係る実態把握の結果に関する処分について

・その他報告（1件）

平成26年度山梨県公立高等学校入学者選抜における都留興譲館高等学校前期募集選抜方法等について

第5回定例会（7月17日）

- ・議案 (2件)
教育委員会所属長等の人事について
山梨県スポーツ推進審議会委員の任命並びに委嘱について
- ・その他報告 (1件)
平成25度山梨県学力把握調査結果の概要について

第6回定例会(8月2日)

- ・その他報告 (1件)
山梨県立都留興譲館高等学校の制服について

第7回定例会(9月11日)

- ・議案 (2件)
平成25年度9月補正予算概要
山梨県文学館協議会委員の委嘱・任命について
- ・報告事項 (3件)
平成26年度採用山梨県立学校実習助手、寄宿舍指導員選考検査について
平成26年度使用山梨県立高等学校(特別支援学校高等部を含む)用教科用図書採択結果について
平成26年度使用山梨県立特別支援学校用教科用図書採択結果について
- ・その他報告 (2件)
山梨県市町村教育委員会連合会からの要望について
平成25年度全国学力・学習状況調査の結果について

第8回定例会(10月9日)

- ・議案 (2件)
職員の処分について
山梨県立高等学校学則の一部を改正する規則
- ・報告事項 (3件)
平成25年度山梨県教育功労者表彰について
平成26年度採用山梨県公立学校教員選考検査について
平成25年度四川省教育交流推進事業について
- ・その他報告 (3件)
指定管理者の候補者の選定について
平成25年度中学校卒業予定者の第1次進路希望調査結果の概要について
山梨県公立高等学校入学者選抜制度改善に係る中間報告

第9回定例会(10月23日)

- ・その他報告 (2件)
山梨県立都留興譲館高等学校の校章について
第68回国民体育大会の結果について

第10回定例会（11月6日）

- ・議案（2件）
平成26年度山梨県公立高等学校等入学者募集定員について
山梨県考古博物館協議会委員の任命について
- ・その他報告（1件）
平成25年度韓国忠清北道とのスポーツ交流事業について

第11回定例会（11月21日）

- ・議案（9件）
平成25年度11月補正予算概要
山梨県知事、副知事、公営企業の管理者、教育長及び常勤監査委員の通勤手当及び期末手当支給条例の一部を改正する条例
山梨県学校職員給与条例等の一部を改正する条例
山梨県立八ヶ岳少年自然の家の指定管理者の指定について
山梨県立科学館の指定管理者の指定について
山梨県立八代射撃場の指定管理者の指定について
山梨県立八ヶ岳スケートセンターの指定管理者の指定について
山梨県立飯田野球場の指定管理者の指定について
山梨県立美術館、山梨県立文学館、山梨県芸術の森公園の指定管理者の指定について
- ・その他報告（1件）
山梨県立青少年センターの指定管理者の指定について

第12回定例会（12月11日）

- ・議案（1件）
「新やまなしの教育振興プラン(仮称)」(素案)に対する県民意見提出制度の実施について
- ・報告事項（1件）
平成26年度採用山梨県立学校実習助手(農業、工業)及び山梨県立特別支援学校寄宿舎指導員選考検査結果について
- ・その他報告（2件）
山梨県立都留興譲館高等学校起工式について
平成24年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査結果について

第13回定例会（12月25日）

- ・議案（2件）
「山梨県いじめ防止基本方針策定協議会」の設置について
職員の処分について
- ・その他報告（1件）
平成26年県下市町村の「成人式」について

第14回定例会（1月7日）

・議案（1件）

職員の処分について

・その他報告（4件）

平成25年度中学校卒業予定者の第2次進路希望調査結果の概要について

平成26年度山梨県公立高等学校全日制課程における再募集の検査方法について

山梨県公立高等学校入学者選抜制度改善に係る最終報告

第69回国民体育大会スケート・アイスホッケー競技会の山梨県選手団の編成について

第15回定例会（1月29日）

・議案（4件）

山梨県指定文化財の指定について

山梨県指定文化財の指定について

山梨県指定文化財の指定について

山梨県指定文化財の指定について

・その他報告（2件）

「やまなしの教育振興プラン」の進捗状況について

新設高等支援学校に係る校名募集について

2 一日教育委員会等の開催状況

(1) 一日教育委員会（教育懇談会）

①平成25年度第1回一日教育委員会（教育懇談会）

平成25年8月7日に、北杜市甲斐駒センター「せせらぎ」において「平成25年度第1回一日教育委員会（教育懇談会）」を開催しました。

会場には、中北教育事務所管内のPTA関係者など県民約130名が訪れました。県の教育委員会からは、6名の教育委員をはじめ各課室長、中北教育事務所長、副所長が出席しました。

高野教育委員長の挨拶のあと、瀧田教育長から「平成25年度主要施策の概要」の説明があり、その後、意見交換が行われました。

参加された方々からは、

「図書館の役割について」

「やまなし教育振興プランについて」

「学校教育について」

「キャリア教育・職業教育について」

「いじめ問題について」

「全国高校総体開催について」

「食物アレルギー対応について」など様々な意見が出されました。

教育委員会では、皆様からのご意見を今後の教育行政に活かしていくこととしています。

【平成25年8月7日】

<一日教育委員会（教育懇談会）の様子>



②平成25年度第2回一日教育委員会（教育懇談会）

平成25年9月11日に、山梨市民会館において「平成25年度第2回一日教育委員会（教育懇談会）」を開催しました。

会場には、峡東教育事務所管内のPTA関係者など県民約130名が訪れました。県の教育委員会からは、6名の教育委員をはじめ各課室長、峡東教育事務所長、副所長が出席しました。

高野教育委員長の挨拶のあと、瀧田教育長から「平成25年度主要施策の概要」の説明があり、その後、意見交換が行われました。

参加された方々からは、
「子どもの学ぶ力について」
「高校入学者選抜制度について」
「いじめ・不登校問題について」
「子どもの虐待について」
「全国学力・学習状況調査について」
「防災教育について」

など様々な意見が出されました。

教育委員会では、皆様からのご意見を今後の教育行政に活かしていくこととしています。

【平成25年9月11日】

＜一日教育委員会（教育懇談会）の様子＞



(2) 児童生徒と語る一日教育委員会

①平成25年度第1回児童生徒と語る一日教育委員会

平成25年7月10日に、富士川町立増穂小学校において、「平成25年度第1回児童生徒と語る一日教育委員会」を開催しました。当日は、教育委員が5・6年生の各教室にて講話をし、その後意見交換が行われました。

その概要は以下のとおりです。

ア 参加者

増穂小学校児童、教職員、及び県教育委員

イ 概要

教育委員が5・6年生の6クラスにそれぞれ1人ずつ分かれ、各教室で以下の題名で講話をし、その内容に沿って意見交換が行われました。

講話した委員名	テーマ
高野委員長	社会は君を待っている
杉原委員長職務代理者	君たちの周りの自然を知ろう
石川委員	富士川舟運について
長田委員	あなたの気持ち、ちゃんと伝わっているかしら
白川委員	ものづくりの楽しさ
瀧田教育長	しなやかに生きる

その後、児童からは、

「アイデアを出すことはとても大切だと知った。」

「自然の中にはこんなに鳥や花があるのかと思った」

「富士川に関わることがよく分かった。」

「自分の気持ちはちゃんと伝えようと思った。」

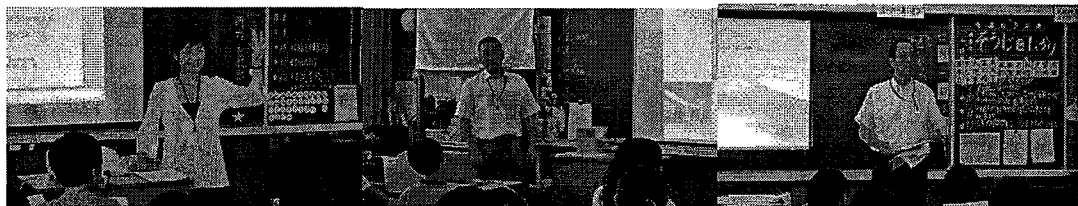
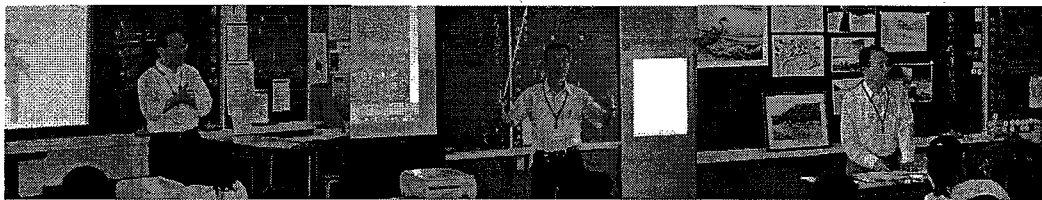
「何度失敗してもそれが成功なんだと思った。」

「最後まであきらめないということが心に残った。」

等の意見が聞かれました。

【平成25年7月10日】

<児童生徒と語る一日教育委員会の様子>



②平成25年度第2回児童生徒と語る一日教育委員会

平成25年10月30日、上野原市立上野原西中学校において、「平成25年度第2回児童生徒と語る一日教育委員会」を開催しました。当日は、教育委員が2・3年生の各教室にて講話をし、その後意見交換が行われました。

その概要は以下のとおりです。

ア 参加者

上野原西中学校生徒、教職員、及び県教育委員

イ 概要

教育委員が2・3年生の5クラスにそれぞれ1人ずつ分かれ、各教室で以下の題名で講話をし、その内容に沿って意見交換が行われました。

講話した委員名	テーマ
高野委員長	社会は君を待っている
杉原委員長職務代理者	身近な自然のすばらしさを知ろう

石川委員	地方自治とまちづくり
長田委員	伝えるチカラ
白川委員	ものづくりの楽しさ

その後、児童からは、

「社会人になるまでに身につけておくべきことがたくさんあることがわかった」

「山梨県の自然について詳しくわかりやすく学ぶことができた」

「地方自治の話や町づくりの話聞いて町長や市長の仕事はとても大変だと思った」

「相手に自分の意思をわかりやすく伝える方法を知ることができた」

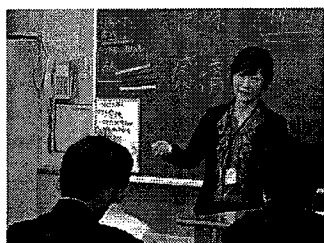
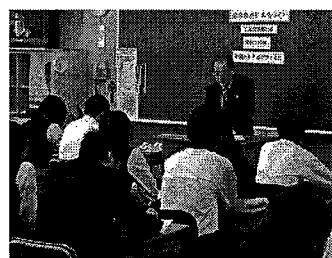
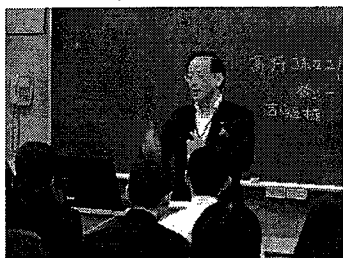
「あきらめずに何度でも挑戦する気持ちを大切にしたい」

「ものを作る仕事に興味を持つことができた」

等の意見が聞かれました。

【平成25年10月30日】

<児童生徒と語る一日教育委員会の様子>



3 その他の活動状況

平成25年

- 2月20日 県市町村教育委員会連合会定期総会・春季研修会 <出席者：小林委員長>
- 3月 5日 保護司選考会 <出席者：小林委員長>
- 3月13日 やまなし文学賞表彰式 <出席者：小林委員長>
- 3月14日 ことぶき勸学院・大学院卒業式 <出席者：小林委員長>
- 3月26日 新委員長就任記者会見<出席者：高野委員長>
- 3月27日 校長辞令交付式 <出席者：高野委員長>
- 3月29日 退職者辞令交付式 <出席者：高野委員長>
- 4月 1日 文学館長辞令交付式 <出席者：高野委員長>
- 4月17日 ことぶき勸学院・大学院入学式 <出席者：高野委員長>
- 4月23日 第28回国民文化祭実行委員会第5回総会
<出席者：杉原委員長職務代理者>
- 4月24日 1都9県教育委員会全委員協議会
～25日 ・出席者：全委員
・開催地：神奈川県
・議題等：「いじめ問題への対応について」ほか
- 4月26日 美術館特別展 <出席者：高野委員長>
・「望月春江とその時代」
- 5月 9日 知事との意見交換会<出席者：全委員>
- 5月27日 山梨県教育会定期総会 <出席者：高野委員長>
- 5月29日 新やまなしの教育振興プラン（仮称）策定委員委嘱・任命式及び第1回策定委員会<出席者：高野委員長>
- 5月30日 山梨県退職公務員連盟定期総会 <出席者：杉原委員長職務代理者>
- 6月10日 保護司選考会 <出席者：高野委員長>
- 6月15日 美術館特別展 <出席者：杉原委員長職務代理者>
・「やまなしの美術館大全 水をめぐる旅」
山梨県PTA協議会定期総会<出席者：高野委員長>
- 6月26日 公安委員との意見交換会<出席者：全委員>
- 6月30日 第28回国民文化祭やまなし2013 夏のステージオープニングイベント
<出席者：高野委員長>
- 7月 3日 新やまなしの教育振興プラン（仮称）第2回策定委員会
<出席者：高野委員長>
- 7月12日 美術館特別展 <出席者：高野委員長>
・「オランダ・ハーグ派展 バルビゾンへの憧れ、ゴッホの原点」
- 7月18日 全国都道府県教育委員会連合会平成25年度第1回総会等
～19日 ・出席者：高野委員長
・開催地：愛知県
・議題等：「今後の教育委員会制度改革について」ほか

- 7月19日 博物館企画展 <出席者：杉原委員長職務代理者>
 ・「山梨の近代人物と鉄道展 中央線が甲府まで開通して110周年 山梨の発展を支えてきた鉄道の歴史を再発見」
- 7月28日 UTY教育美術展表彰式 <出席者：高野委員長>
- 7月31日 県立文化施設館長座談会<出席者：高野委員長>
- 8月8日 新やまなしの教育振興プラン（仮称）第3回策定委員会
 <出席者：高野委員長>
- 8月14日 平成25年採用教員面接試問 <出席者：全委員>
 ~16日
- 8月20日 山梨県私学教育研修会<出席者：高野委員長>
 第2回管理職研修・教頭研修会<出席者：高野委員長>
- 8月21日 新やまなしの教育振興プラン（仮称）策定委員会進捗状況報告会
 <出席者：全委員>
- 9月5日 1都9県教育委員会委員長協議会
 ~6日
 ・出席者：高野委員長
 ・開催地：千葉県
 ・議題等：「道德教育の推進について」ほか
- 9月6日 美術館特別展 <出席者：杉原委員長職務代理者>
 ・「日本のわざと美」展 ー重要無形文化財とそれを支える人々ー
- 9月12日 第68回国民体育大会選手団結団壮行式 <出席者：高野委員長>
- 9月21日 巨摩高等学校創立90周年記念式典 <出席者：石川委員>
- 9月24日 考古博物館特別展 <出席者：高野委員長>
 ・「食いしんぼうの縄文人 いざとなったら縄文食～日本の食と心の源流～」
- 9月27日 文学館企画展 <出席者：杉原委員長職務代理者>
 ・「与謝野晶子展 われも黄金の釘一つ打つ」
- 9月28日 防災新館開館記念式典
 <出席者：高野委員長、杉原委員長職務代理者、石川委員>
 第68回国民体育大会 <出席者：高野委員長>
- 10月4日 富士北稜高等学校創立10周年記念式典 <出席者：杉原委員長職務代理者>
- 10月10日 家読フォーラム<出席者：高野委員長>
- 10月11日 新やまなしの教育振興プラン（仮称）第4回策定委員会
 <出席者：高野委員長、白川委員>
- 10月18日 博物館企画展 <出席者：高野委員長>
 ・「山梨の名宝」
- 10月25日 美術館特別展 <出席者：杉原委員長職務代理者>
 ・「生誕100年 萩原英雄展」
- 10月26日 第28回国民文化祭総合フェスティバル（開会式）
 <出席者：杉原委員長職務代理者>
- 11月1日 平成25年度山梨県教育功労者表彰式 <出席者：全委員>
- 11月5日 山梨県市町村（組合）教育委員会教育委員研修会 <出席者：高野委員長>

- 11月10日 第28回国民文化祭総合フェスティバル（閉会式フィナーレ）
 <出席者：高野委員長>
- 11月11日 新やまなしの教育振興プラン（仮称）第5回策定委員会
 <出席者：高野委員長>
- 11月13日 山梨県文化賞表彰式 <出席者：杉原委員長職務代理者>
- 11月14日 峡南高等学校創立90周年記念式典 <出席者：石川委員>
- 11月15日 新任教育委員研究協議会 <出席者：白川委員>
- 11月17日 新県立図書館開館一周年記念式典
 <出席者：高野委員長、杉原委員長職務代理者、石川委員>
- 11月18日 韓国忠清北道スポーツ交流事業結団式 <出席者：長田委員>
- 11月19日 新やまなしの教育振興プラン（仮称）策定委員会答申
 <出席者：高野委員長>
- 11月20日 歴代教育委員懇談会
 <出席者：高野委員長、杉原委員長職務代理者、長田委員、白川委員>
- 11月25日 韓国忠清北道スポーツ交流事業 <出席者：長田委員>
 ~29日
- 11月29日 山中伸一文部科学省事務次官「教育を語る会」<杉原委員長職務代理者>
- 11月30日 第1回山梨県PTA大会<出席者：高野委員長>
- 12月4日 新やまなしの教育振興プラン（仮称）勉強会
 <出席者：高野委員長、杉原委員長職務代理者、長田委員、白川委員>
- 12月14日 美術館企画展 <出席者：高野委員長>
 ・「動物ものがたり」
- 12月26日 いじめ防止基本方針策定協議会<出席者：高野委員長>
- 平成26年
- 1月8日 平成26年度採用校長面接試問 <出席者：全委員>
 ~10日
- 1月14日 第69回冬季国民体育大会スケート競技会・アイスホッケー競技会
 選手団結団壮行式 <出席者：高野委員長>
- 1月15日 平成26年度採用教頭面接試問 <出席者：全委員>
 ~17日
- 1月20日 全国都道府県教育委員会連合会平成25年度第2回総会等
 ・出席者：高野委員長
 ・開催地：東京都
 ・議題等：「児童・生徒の学力向上について」ほか
- 1月24日 都留興譲館高等学校起工式<出席者：全委員>
- 1月29日 新やまなしの教育振興プラン（仮称）勉強会<出席者：全委員>

第2 教育行政の点検・評価

1 評価の概要

(1) 趣旨

県教育委員会では次を行政評価の目的とし、所管する施策・事業の効果や目的達成度を点検・評価する。

① 成果を重視した県民本位の行政の推進

県民の視点に立って施策・事業の成果等を検証し、事業の積極的な見直しや再構築を進め、成果を重視した行政運営を推進する。

② 限られた財源や人材の効果的効率的な活用

社会経済情勢や県民ニーズの変化を踏まえ、不要不急な事業等を積極的に見直すことにより、財源、人材の効率的な配分を進め、県民が真に必要とする施策・事業への重点化を図る。

③ 県民に対する説明責任の徹底

施策・事業の目的や目標、成果を明らかにし、施策展開における県民への説明責任を果たす。

(2) 実施方法

点検・評価は、教育委員会が自主的に実施する「内部評価」と外部有識者による山梨県行政評価アドバイザー会議が実施する「アドバイザー評価」とする。

(3) 対象

① 内部評価は、平成25年度当初予算に計上された事業のうち、人件費・扶助費などの義務的経費、庁舎等の維持管理経費等に係る事業を除く23事業とする。

② アドバイザー評価は、山梨県行政評価アドバイザー会議が選定した事務事業の2事業及び公共施設の1施設とする。

(4) 評価方法

評価は「事務事業自主点検シート」により、事業担当課室が自主的に事務事業の点検を行うことを基本とし、そのうちアドバイザー評価に係る事務事業を公開で外部評価する。

評価の時点については、原則として平成24年度末現在とするが、評価に当たっては平成25年度上半期の実績等も勘案する。

(5) 評価基準

① 活動量

「事業の目的」を達成するために行った取り組みが、予定された活動量を上げているかを評価するため、活動指標達成率に基づく数値判定を行う。

- a: 予定を超えた活動量がある(120%以上)
- b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満)
- c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)
- d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)

② 成果

「事業の目的」を達成するために行った取り組みが、意図した成果を上げているかを評価するため、成果指標達成率に基づく数値判定を行う。ただし、成果を定量的に指標化することが困難な場合には、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断する。

- a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上)。
- b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満)。
- c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満)。
- d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)。

2 内部評価

(1) 評価の概要

評価を行った23事業の活動量及び成果は次のとおりである。

○ 活動量

「a: 予定を超えた活動量がある」	該当なし
「b: 予定どおりの活動量がある」	23事業
「c: 予定したほど活動量がない」	該当なし
「d: 予定した活動量に著しく足りない」	該当なし

○ 成果

「a: 意図した成果を十分に上げている」	該当なし
「b: 意図した成果はほぼ上げている」	23事業
「c: 意図した成果は十分ではないが、 対象や方法の改善により成果の向上が見込める。」	該当なし
「d: 意図した成果が十分でなく、 成果を上げる方法も見あたらない。」	該当なし

このうち、「廃止」、「縮小」又は「実施方法等の変更」など、見直しの必要性が「有」の事業は、13事業となった。

※ 内部評価の結果一覧は、22頁の別表1のとおり。

3 アドバイザー評価（事務事業）

(1) 広報誌発行経費 《総務課》

① 事業内容

<p>①「教育やまなし」の発行 本県の教育施策や各学校での先進的な取組や実績の紹介、また、芸術文化スポーツについて学校現場で役立つような情報の提供など、県内公立学校教職員及び県 教委事務局教職員等を対象とした、本県の教育の振興に資する情報を提供するための専門誌（年4回、各8,300部発行）</p> <p>②「山梨県の教育」の発行 本県教育の基本計画、予算、学校教育や社会教育・文化・スポーツなどの状況をまとめたリーフレット（年1回、1,500部発行）</p>
--

② 活動量

活動指標	<p>○発行部数</p> <p>①教育やまなし 実績33,200部（目標33,200部）</p> <p>②山梨県の教育 実績 1,500部（目標 1,500部）</p>
評価	<p>○①教育やまなし及び②山梨県の教育とも、予定どおりの活動量がある。</p> <p>○b：予定どおりの活動量がある（80%以上120%未満）</p>

③ 成果

成果指標	
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動や教育行政に必要な情報を、教育委員会全体で共有することができる。 ・小中高特支それぞれの教員が他校種の優れた取り組みを知ることができ、学校現場で有効に活用されている。 ・学校と美術館・博物館等との連携情報を得ることができ、校外研修などへの活用がなされているなど、意図した成果はほぼ上げている。

④ これまでの事業の見直し・改善状況

<ul style="list-style-type: none"> ・編集作業の効率化のため、記事原稿、構成のフォーマットを作成 ・国民文化祭など、教育委員会所管外の事業についても積極的に取り上げるよう改善 ・博物館などの企画展を教育活動に活用する際に、生徒に指導するポイントが明らかになるよう、記事の構成を改善 ・教員が校外学習を行う際に、県立施設等のイベントを容易に確認し比較できるよう、記事の構成を改善

⑤ 一次評価（教育委員会評価結果）

見直しの必要性	<p>公立小中学校の教員は、県教育委員会が任命権を持つが、服務等の監督権は市町村教育委員会を持つという特殊事情がある。こうした中で、県教育委員会の職員としての一体性を保つためには、県教育委員会の教育方針や事業内容等を教職員に周知するため広報活動が必要である。</p>
有	<p>この広報誌は県内全ての教職員に配付され、県の施策や事業、教員の取組の優秀事例やイベント等の活用方法が学校教職員や教育関係者に周知され、学校現場において有効な活用が図られている。今後は、編集において、それぞれの所属の横の連携を意識した編集体系に変更するなど、より充実した紙面にする必要がある</p>

⑥ アドバイザー（外部有識者3名）による評価

日高 アドバイザー	廃止	<p>公立学校教職員や県・市町村の教育機関向けの情報誌である「教育やまなし」と、教育の概要をまとめたリーフレットである「山梨県の教育」の印刷製本費の事業である。</p> <p>「教育やまなし」は昭和33(1958)年に創刊されて55年が経過している。その間、県教委と公立学校教職員や市町村教委との情報伝達・共有の手段として、重要な役割を演じてきたことがうかがえる。</p> <p>しかしながら、近年、情報媒体が急速に変化するとともに多様化し、教育現場のニーズや課題も著しく変化してきた。そのため、各種の研修や研究会、体験交流、専門誌や調査報告書、ネット上のHPや情報交換サイト、SNSによる情報交流など、様々な媒体を介して多様な教育情報が入手可能になっている。こうした情報環境の大きな変化の中において、目的を特化(専門化)しない一般的な情報提供誌の存在意義はますます低下していると考えられる。</p> <p>また、仮にそうした情報提供に存在意義が認められるとしても、それが「紙媒体」でなければならぬ合理的理由は乏しい。ネット上のホームページやメールマガジンなどの電子媒体を用いることで、よりタイムリーな情報提供も可能になるだけでなく、ユーザからのフィードバックも容易になる。市町村によっては、教職員全員に一人一台のPCが配置されていないことが、電子媒体化の障害であるという説明があったが、そもそもこの種の情報誌がなぜ全員に一人一冊ずつ配布しなければならないのか、合理的理由がない。各学校単位に数冊とか、各学年単位に数冊とか、各教科単位に数冊といった、組織ユニットごとの配布で十分である。電子化される場合にも同様である。</p> <p>なお、リーフレット「山梨の教育」も、毎年度データ更新だけをしてHP上に掲載しておけば足りるし、ハードコピーが必要な場合にはその都度カラープリンタなどで必要部数を印刷すればよい。以上により、廃止とするのが適当であると思料する。</p>
土橋 アドバイザー	廃止	<p>昭和33年から実施している事業で、環境も変化している中で、人件費を含めて約500万円もの経費負担をしていることを考慮すると、内部職員への連絡広報であり、紙ベースでなく、メールマガジン等の手段で代替可能ではないか。</p> <p>その方が、スピーディでタイムリーな情報提供が可能となり、保存、アクセス数の把握等、管理上もベターではないか。</p> <p>また、成果指標による明確な効果の検証もできていない。</p>
五味 アドバイザー	廃止	<p>「教育やまなし」は、紙による配付を廃止し、ホームページ等の活用を望む。</p> <p>「山梨の教育」は、外部訪問者に提供する必要があるならば機会あるごとに新しいデータに更新し、必要に応じて印刷するといった方法を検討するべきである。</p>

⑦ 二次評価（教育委員会再評価結果） ※ アドバイザー評価での指摘事項を踏まえた再評価

見直しの 必要性	<p>公立小中学校の教員は、県教育委員会が任命権を持つが、服務等の監督権は市町村教育委員会が持つという特殊事情がある。こうした中で、県教育委員会の職員としての一体性を保つためには、県教育委員会の教育方針や事業内容等を教職員に周知するため広報活動が必要である。</p>
有	<p>ただし、情報提供の手法については、費用面、迅速かつタイムリーな情報伝達の面で、従来の紙媒体(冊子)から、メールマガジン等の方法に切り替える。</p>

(2) 身延町立施設運営費補助金 《社会教育課》

① 事業内容

○山梨県立なかとみ青少年自然の里と一体的な運営をしている身延町立青少年自然の里に対し、補助を行う。
 ・補助対象経費：町立青少年自然の里を運営するために必要な経費（体験活動費：講師報償費、消耗品費）
 ・補助率 1/2（上限：2,000千円を限度）
 ・体験活動事業（7事業）
 和紙づくり、陶芸体験、ほうとうづくり、そばづくり、おざらづくり、豆腐づくり、こんにやくづくり（郷土食体験）

② 活動量

活動指標	○町体験活動事業数（目標7事業）
評価	○活動指標達成率 100%（実績7事業） ○b：予定どおりの活動量がある（80%以上120%未満）

③ 成果

成果指標	(町体験活動事業) ①参加団体数 ②参加人数 ③参加者満足度
評価	○成果指標達成率 ①86.6% ②74.6% ③98% ○b：意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満)

④ これまでの事業の見直し・改善状況

昭和63年に交付要綱を施行して以降、施設の運営の見直しに合わせ平成18年度に補助金額を前年度利用料収入相当額から上限2,000千円に設定するとともに補助率を1/2とし、対象経費を体験活動費に限定。また20年度には、対象経費を体験活動費の講師報償費と消耗品費に見直しを行い、事業量に応じた補助をすることとした。

⑤ 一次評価（教育委員会評価結果）

見直しの必要性	和紙工房や陶芸工房の利用者が減少しているため、町との協議の中でニーズの変化に対応した見直しを行う。
有	

⑥ アドバイザー（外部有識者3名）による評価

イ目ザ高	評価	調書番号20の「なかとみ青少年自然の里」の見直し(廃止)と連動して検討するという条件で、この補助事業も「廃止」するのが適当であると思料する。
アドバ	廃止	
ザ土橋	評価	町の体験事業に関する運営費を県が補助している事例は他にはなく、町の自助努力・自己責任の中で実施すべきではないか。 なお、体験事業については、この場所でないといけないというものでないのか、地域の特性を活かした独自性のある事業となるよう内容を見直しする必要があるのではないか。
アドバイ	廃止	
イ五味	評価	なかとみ青少年自然の里運営費と表裏一体をなすものと考えてるので、町施設と統合して運営することによって補助金は不要になると考える。
アドバ	廃止	

⑦ 二次評価（教育委員会再評価結果） ※ アドバイザー評価での指摘事項を踏まえた再評価

見直しの必要性	「なかとみ青少年自然の里」は、県立施設（宿泊棟とキャンプ場）と身延町立施設（体験工房など）が一体となって管理運営されているが、県立施設を身延町が指定管理者として管理運営する一方、身延町立施設で行う体験学習などの経費の一部を県が補助金として交付するなど、複雑でわかりにくい運営体制となっている。 今後、県立施設の町への譲渡又は廃止について検討を進めることから、この補助金についても、現在の指定管理期間が終期を迎える平成27年度末の廃止を検討する。
有	

4 アドバイザー評価（公共施設）

(1) なかとみ青少年自然の里運営費 《社会教育課》

① 事業内容

1	利用の承認に関する業務
2	施設及び設備器具の維持保全に関する業務
3	利用者への指導・支援業務、体験普及事業等 <ul style="list-style-type: none"> 活動プログラム(宿泊等利用者に対して提供している体験活動) 陶芸 手すき和紙作り 草木染め 七宝焼き 篆刻 手わざ体験 郷土食づくりなど 主催事業(体験活動、野外活動を実践するために活動プログラムとは別に企画・実施する事業) (16事業) 親子体験スクール(ヤマメ釣りとおそばづくり、本栖湖一周ハイキング)、少年少女自然体験教室(はにわづくり、野外炊飯、勾玉づくり)、親子ふれあい自然体験教室(そば打ち・野草天ぷら作り、親子キノコ狩りとキノコ飯づくり、ほうとうづくり、枝豆の収穫体験)、ちょっと体験2012～2013(藍染、ステンドグラス、陶芸①②、しめ縄・ミニ門松づくり、ほうとうづくり・味噌仕込み、燻製・ソーセージづくり①②)、なかとみ現代工芸美術館共催事業(陶芸)

② 活動量

活動指標	○稼働率 実績43.5% [目標45.0%] ○主催事業の開催回数 実績16回 [目標19回]
評価	○稼働率は目標の96%、事業開催回数は目標の84%と概ね予定どおりの活動量がある。 ○b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満)

③ 成果

成果指標	○利用者数 実績7,494人 [目標8,500人] ○目標達成の満足度 実績92.0% [目標90.0%]
評価	○利用者数については、目標値に対して88%となり、成果指標によらない成果としても、チラシ配布先の見直しなどにより県内利用者割合の増加が見られた。また、利用者満足度調査においても、利用者から90%超の評価を得ており、意図した成果をほぼ上げている。 ○b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満)

④ これまでの事業の見直し・改善状況

<p>施設の利用者が減少する秋から冬にかけて、主催事業として小学生以上が参加できる講座を開催したり、平成22年度からは青少年教育施設の他3施設(愛宕山少年自然の家・八ヶ岳少年自然の家及びゆずりはら青少年自然の里)との連携によりプログラム交換を行ったり、24年度は冬期のプログラムを考えるなど、改善を図っている。また、職員配置を見直すなど効率的な運営ができるように改善を図っている。</p>
--

⑤ 一次評価（教育委員会評価結果）

見直しの必要性	県立施設と町立施設が一体として管理運営されており、「県立の宿泊施設」と「町立の体験活動施設」の両施設が共存することにより、利用者に宿泊と多様な体験活動を一箇所で開催でき、効率的な運営に大きな効果をもたらしている。しかし、伝統文化学習メニューである和紙工房や陶芸工房の利用者が減少しており、コンセプトやプログラム等の見直しを含めた検討を行う。
有	

⑥ アドバイザー（外部有識者3名）による評価

日高アドバイザー	評価	開設後26年が経過し、青少年施設と「伝統文化・伝統産業」を合体した当初のコンセプトは、現状からみると成功しているとはいえない。第1に、林間学校等の運営方法の変更等も影響して体験工房の利用が減少している。第2に、自然の里の施設利用者全体がこの10年は年間8,000人前後で低迷しており、利用者一人当たりの県費投入額は、指定管理料と補助金を合わせ平成24年度で4,131円程度になる。施設の運営効率にも課題が多い。第3に、「青少年自然の里」は青少年の育成を目的とした社会教育施設に位置づけられているが、利用の実態はそれにそぐわないものに変質している。
	廃止	したがって、施設のあり方を抜本的に見直し、今後の方向をゼロベースで再検討すべき時期にあると考える。そのあり方の一つとして、「廃止」の方向性もあろう。ここで提案する「廃止」には、「社会教育施設としての廃止」と、「県の公共施設としての廃止」という二つの意味が考えられる。都市と中山間地のニーズは広く潜在しているが、それをソフト化する知恵を県も町も住民も出し合うことで、新たな活路を見いだす可能性に期待したい。

巴士橋 アドバイザー	評価	県の施設と町の施設が同一エリアの中に混在しているという非常に変則的で分かりにくい施設である。これを解消するためにどちらかが運営主体になるかということに加え、存廃も含めた施設のあり方自体を抜本的に見直していく必要があるのではないか。 また、指定管理料について利用料金制を取っていないことについても、指定管理者の営業努力が反映されにくい運営となっているので、これについても見直しの余地があるのではないか。
	要改善	
五味 アドバイザー	評価	宿泊施設と体験施設の所有が県と町という並立で運営されていることが現状を大変複雑にしている。青少年以外の利用が増えていることから、設置目的を見直して統合した施設として運営していく方が効果的と考える。
	譲渡	

⑦ 二次評価（教育委員会再評価結果） ※ アドバイザー評価での指摘事項を踏まえた再評価

見直しの 必要性	施設全体の利用者が減少し、特に青少年の利用が減少していく中で、当初の設置目的にそぐわない利用実態となっている。また、県立施設と町立施設が一体として運営されていることが、管理を複雑化している。 平成26年度末までに、県立施設の町への譲渡又は廃止について、身延町と調整を図りながら検討を進める。
有	

別表 1

内部評価結果一覧

区 分		事業実施状況の判断(a~d)		見直しの必要性
※()内の比率は数値判定の基準。「活動量と成果の判断」は、数値判定に対し、更に担当課室が各種要因等を総合的に勘案し、aからdを選択。		活動量	成果	評価「有」
a	活動量: 予定を超えた活動量がある(120%以上) 成 果: 意図した成果を十分に上げている(120%以上)	0	0	13 (57%)
b	活動量: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満) 成 果: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満)	23	23	
c	活動量: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満) 成 果: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満)	0	0	
d	活動量: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満) 成 果: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)	0	0	
計		23	23	

No.	担当課	細事業名	H25当初 予算額 (千円)	事業実施状況の判断(a~d)		見直しの 必要性
				活動量	成果	評価
1	総務課	教育研修費	2,958	b	b	
2	総務課	基礎学力到達度調査事業費	1,530	b	b	有
3	義務教育課	教育課程研究費	546	b	b	有
4	義務教育課	保護者のための不登校研修会開催費	138	b	b	
5	高校教育課	学校訪問指導費	175	b	b	
6	高校教育課	学校教育指導重点作成費	599	b	b	有
7	高校教育課	新産業技術等職業高校教員研修費	1,601	b	b	有
8	高校教育課	高等学校生徒指導主事研修会費	42	b	b	
9	新しい学校づくり推進室	魅力ある高校づくり推進費	89	b	b	有
10	新しい学校づくり推進室	特別支援教育担当職員研修費	467	b	b	
11	社会教育課	青少年健全育成成功労者知事表彰	60	b	b	有
12	社会教育課	子育て相談総合窓口設置事業費	4,647	b	b	
13	社会教育課	青少年長期自然体験活動事業費	2,538	b	b	有
14	スポーツ健康課	定時制高校夜食事業費	1,281	b	b	有
15	スポーツ健康課	県小中学校体育連盟補助金	4,640	b	b	有
16	スポーツ健康課	県高等学校体育連盟補助金	14,277	b	b	有
17	スポーツ健康課	国体選手派遣費補助金	2,527	b	b	
18	スポーツ健康課	小学校教員体育実技講習会事業費	59	b	b	有
19	スポーツ健康課	中・高等学校体育実技指導者講習会事業費	114	b	b	有
20	スポーツ健康課	学校体育研究会事業費	45	b	b	有
21	スポーツ健康課	学校給食大会費	79	b	b	
22	学術文化財課	文化財保護審議会開催及び現地調査費	1,671	b	b	
23	学術文化財課	国・県指定文化財の管理指導・研修費	2,074	b	b	

別表2

アドバイザー評価(事務事業)結果一覧

区 分		活動量と 成果の判断		見直しの必要性		
		活動量	成果	一次 評価 「有」	ア ド バ イ ザ ー 評 価 「有」	二 次 評 価 「有」
※()内の比率は数値判定の基準。「活動量と成果の判断」は、数値判定に対し、更に担当課室が各種要因等(例:イベント当日の天候)を総合的に勘案し、aからdを選択。						
a	活動量: 予定を超えた活動量がある(120%以上) 成 果: 意図した成果を十分に上げている(120%以上)	0	0	2 (100%)	2 (100%)	2 (100%)
b	活動量: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満) 成 果: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満)	2	2			
c	活動量: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満) 成 果: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満)	0	0			
d	活動量: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満) 成 果: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)	0	0			
計		2	2			

No.	担当課	細事業名	H25当初 予算額 (千円)	活動量と 成果の判断		見直しの必要性		
				活動量	成果	一次 評価	ア ド バ イ ザ ー 評 価	二 次 評 価
1	総務課	広報誌発行経費	3,176	b	b	有	有	有
2	社会教育課	身延町立施設運営費補助金	2,000	b	b	有	有	有

別表 3

アドバイザー評価（公共施設）結果一覧

区 分		活動量と 成果の判断		見直しの必要性		
		活動量	成果	一次 評価 「有」	ア ド バ イ ザ ー 評 価 「有」	二 次 評 価 「有」
※()内の比率は数値判定の基準。「活動量と成果の判断」は、数値判定に対し、更に担当課室が各種要因等(例:イベント当日の天候)を総合的に勘案し、aからdを選択。						
a	活動量: 予定を超えた活動量がある(120%以上) 成 果: 意図した成果を十分に上げている(120%以上)	0	0	1 (100%)	1 (100%)	1 (100%)
b	活動量: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満) 成 果: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満)	1	1			
c	活動量: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満) 成 果: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満)	0	0			
d	活動量: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満) 成 果: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)	0	0			
計		1	1			

No.	担当課	施設名	活動量と 成果の判断		見直しの必要性		
			活動量	成果	一次 評価	ア ド バ イ ザ ー 評 価	二 次 評 価
1	社会教育課	なかとみ青少年自然の里	b	b	有	有	有

第3 「やまなしの教育振興プラン」について

少子高齢化・核家族化、価値観の多様化など、教育を取り巻く環境が大きく変化する中、国においては、平成18年12月に教育基本法がおよそ60年ぶりに改正され、平成19年6月には、いわゆる教育関連三法が改正されるなど、教育の枠組みが大きく変わりました。

一方、本県においても、平成19年12月に策定された「チャレンジ山梨行動計画」において、人づくりは県政の基本であるとの認識の下、『はぐくむやまなし』の実現に向けた教育に関する諸施策が示されました。

こうした状況を踏まえ、県教育委員会では、平成21年2月、本県教育振興の基本計画である『やまなしの教育振興プラン』を策定し、教育の諸課題に取り組んでいるところであります。

このプランでは、平成21年度から平成25年度までの5年間の計画期間とし、「ふるさとを愛し、世界に通じる人づくり」の基本理念の下、「個性を生かし、生きる力をはぐくむ『やまなし』人づくり」、「豊かで潤いがあり、明るく活力に満ちた『やまなし』社会づくり」を基本目標とし、これを達成するための5つの施策の柱と、重点的に取り組む6つの施策、目標となる指標などを設定しています。

県教育委員会では、これらの設定した指標の達成状況を把握しながら自ら点検・評価を行い、施策や事業の充実と適時・適切な見直しに努めることとしており、今年度は、計画期間の4年目の点検・評価を行いました。

なお、『やまなしの教育振興プラン』は、平成21年度から平成25年度までの5年間の計画であり、本年度で計画期間が終了することとなるため、後継となる新たな教育振興のための基本計画の策定を進めております。今後とも、新たな計画に基づき、事業の充実に努めて参ります。

1 「やまなしの教育振興プラン」の施策体系と主な事業

『ふるさとを愛し、世界に通じる人づくり』の基本理念の下、次の2つを基本目標として「やまなし」の教育の振興を図ります。

個性を生かし、生きる力をはぐくむ「やまなし」人づくり

豊かで潤いがあり、明るく活力に満ちた「やまなし」社会づくり

さらに、基本目標を達成するため、家庭、地域、学校や行政等、社会全体で取り組む『横』の連携と、幼児教育から小・中・高等学校、大学等、さらには社会生活への発達段階に応じた『縦』の接続とに留意しつつ、諸施策の中で、特に次の施策について重点的に取り組みます。

- 1 夢をはぐくみ、自立して生きていく力を培う「体系的なキャリア教育の推進」
- 2 みんなで、子どもを見守りはぐくむ「地域全体で取り組む教育の推進」
- 3 考え抜く力とやる気をはぐくむ「確かな学力の育成」
- 4 自他への思いやりや情操をはぐくむ「豊かな心の育成」
- 5 健康でたくましく生きる基盤を培う「健やかな体の育成」
- 6 豊かで生きがいのある生活を支える「文化の振興」

施策の柱	施策	事業名	
学校教育の充実	体系的なキャリア教育の推進	体系的学習プログラムの開発と実践 幼小中高連携による一貫した進路指導の推進 職業教育・ものづくり教育の推進 キャリア教育に関する指導力の向上 キャリア教育の理解と実践 企業や関係機関との連携	<義務教育課> いきいき教育地域人材活用推進事業費 <高校教育課> 地域と連携した工業系技術力向上対策事業費 キャリア教育推進支援事業費
	確かな学力の育成	各学校段階に応じた学習指導の充実 基礎的・基本的な知識や技能の定着 思考力・判断力・表現力等の育成 国語力等の向上 個性を生かす教育の充実 学ぶ意欲を引き出す学習評価の確立 学習習慣の確立 総合的な学習の時間の充実 校種間連携の推進	<義務教育課> 学力向上対策事業費 いきいき教育地域人材活用推進事業費 社会生活にいきる読解力向上推進事業費 教育課程研究費 <高校教育課> 自ら学ぶ学校図書館活用事業費 キャリア教育推進支援事業費(再掲) <総合教育センター> 教育研修費(再掲) 教育研究費

施策の柱	施策	事業名		
学校教育の充実	豊かな心の育成	道徳教育の推進	<義務教育課> いきいき教育地域人材活用推進事業費(再掲) 社会生活にいきる読解力向上推進事業費(再掲) ふるさと山梨郷土学習推進事業費 生徒指導費 いじめ・不登校対策事業費 豊かな心をはぐくむ「やまなし」道徳教育推進事業	
		豊かな体験活動の推進	<高校教育課> キャリア教育推進支援事業費(再掲) 高等学校文化活動助成費 自ら学ぶ学校図書館活用事業費(再掲) 生徒指導費	
		伝統文化・文化芸術に関する教育や文化部活動の充実	<社会教育課> フロンティア・アドベンチャー「やまなし少年海洋道中」開催事業費 子どもの読書活動推進事業費 環境浄化推進事業費(再掲)	
		読書活動の推進と拡充	<学術文化財課> 美術館事業費(教育普及)(再掲) 博物館事業費(教育普及)(再掲) 考古博物館事業費(教育普及)(再掲) 文学館事業費(教育普及)(再掲)	
		いじめ問題への取組の充実	県立文化施設共通事業費	
		不登校問題への取組の充実	<総合教育センター> 教育研修費(再掲) 教育相談事業費 適応指導教室運営費(義務教育課)	
		問題行動への取組の充実		
	健やかな体の育成	学校体育・スポーツの充実	学校体育・スポーツの充実	<スポーツ健康課> 健康・体力づくり実践事業 小学校教員体育実技講習会事業費 中・高等学校体育実技指導者講習会事業費 学校体育研究会事業費 運動部活動外部指導者派遣事業費
			健康・安全教育の推進	各種大会への指導者派遣事業費 武道等指導推進事業費 学校体育団体等関係事業補助金 学校保健推進費 学校給食推進費
			食育の推進	夜間定時制給食費 <全国高校総体推進室> 平成26年度全国高等学校総合体育大会準備費
	特別支援教育の充実	特別支援教育の充実	特別支援学校の充実	<新しい学校づくり推進室> 特別支援教育推進費
			幼稚園及びすべての学校における支援体制の整備と保育所との連携	交流・共同学習指導費 特別支援学校児童生徒就学奨励費
		就学指導の充実	<総合教育センター> 特別支援学校教職員研修等事業費	
		自立と社会参加の促進	障害のある子どものための教育相談事業費	

施策の柱	施策	事業名
学校教育の充実	時代の要請に応える教育の推進	<義務教育課> いきいき教育地域人材活用推進事業費(再掲) エネルギー教育推進事業費 帰国子女等教育指導費 いじめ・不登校対策事業費(再掲) 豊かな心をはぐくむ「やまなし」道徳教育推進事業(再掲) <高校教育課> エネルギー教育推進事業費 県立学校教育情報化推進事業費 教育情報ネットワーク整備事業費 キャリア教育推進支援事業費(再掲) 国際理解教育推進事業費 <総合教育センター> 教育研修費(再掲) <社会教育課> 人権教育促進事業費 環境浄化推進事業費 内閣府青年国際交流事業費
	青少年を有害環境から守るための取組の推進	
	環境教育の充実	
	人権教育・男女平等教育の充実	
	福祉教育の充実	
	理数教育の充実	
	情報教育の充実	
	国際理解の推進とコミュニケーション能力の育成	
学校教育の環境整備	学校教育の環境整備	<学校施設課> 東部地域総合制高校建設事業費 中央高等学校建設事業費 県立学校冷房設備設置費 わかば支援学校建設事業費 新しい高等支援学校整備事業費 <義務教育課> 海外派遣研修費 初任者研修費 指導者研修費 教育課程研究費(再掲) 教育職員免許検定費 学校教育指導費 教員の資質能力向上推進事業費 教職員人事給与管理費 <高校教育課> 高校初任者研修費 交通被災遺児就学奨励費補助金 育英奨学金貸付金補助金 定時制課程等修学奨励費 <新しい学校づくり推進室> 新しい高校づくり推進事業費 <総合教育センター> 教育研修費 教育研究費(再掲) 特別支援学校教職員研修等事業費(再掲) <私学文書課> 私立学校運営費補助金 私立高等学校授業料減免補助金 私立幼稚園障害児就園事業補助金 私立学校耐震診断実施事業費補助金
	学校施設の充実	
	優れた人材の確保と教職員の適正配置	
	教員免許更新制の円滑な実施	
	教職員の資質向上	
	指導が不適切な教員の人事管理システムの推進	
	学校運営システムの充実	
	就学の奨励	
	学校現場の創意工夫による取組への支援	
	教育に関する研究成果等の蓄積・活用	
	魅力ある高校づくりの推進	
私学の振興	私学の振興	

施策の柱	施策	事業名	
学校教育の充実	高等教育の振興	県と大学との連携の推進	＜企画課＞ 山梨大学・山梨県連携推進協議会 連携事業検討会議
		産学官連携事業の推進	＜私学文書課＞ 公立大学法人評価委員会運営費
		大学間連携の推進	
		県立大学への公立大学法人制度の導入	
家庭・地域・学校の連携	幼児教育・家庭教育への支援	幼児教育への支援	＜義務教育課＞ 幼児教育振興事業費 豊かな心をはぐくむ「やまなし」道徳教育推進事業(再掲)
		子育てに関する学習機会の充実	＜社会教育課＞ 父親の子育て参加支援事業費 幼児教育放送「子育て日記」放映事業費 子育て支援リーダー・ステップアップ事業費 子育て相談総合窓口設置事業費
		子育てに関する相談体制の充実	
		人材の育成・確保・活用	＜総合教育センター＞ 障害のある子どものための教育相談事業費(再掲)
	地域全体で取り組む教育の推進	地域住民による学校支援体制の整備	＜義務教育課＞ いきいき教育地域人材活用推進事業費(再掲) 豊かな心をはぐくむ「やまなし」道徳教育推進事業(再掲)
		体験活動推進体制の整備	＜社会教育課＞ やまなし学校応援団育成事業 やまなし若者中心市街地活性化コンソーシアム事業費
		地域活動への子どもの参加促進	青少年センター費 八ヶ岳少年自然の家運営費 なかとみ青少年自然の里運営費 ゆずりはら青少年自然の里運営費
		地域のボランティア等との連携による学校内外の安全確保	子どもクラブ活性化事業費補助金 子どもの読書活動推進事業費 放課後子どもプラン推進事業費 地域教育連携事業費
		子どもの読書活動支援	青少年育成山梨県民会議助成費
		放課後や週末の子どもたちの体験・交流活動等の場づくり	＜スポーツ健康課＞ 地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費
開かれた学校づくりの推進			
生涯学習の推進	生涯学習推進体制の充実	推進組織の機能強化	＜生涯学習文化課＞ 生涯学習推進事業費 生涯学習情報提供事業費 生涯学習推進センター運営費(情報の提供・相談事業、普及啓発事業、指導者等養成事業) キャンパスネットやまなし運営費(再掲)
		学習情報の提供の充実	
	普及啓発の充実	＜社会教育課＞ 社会教育指導者養成事業費	
	生涯学習活動の指導者養成		

施策の柱	施策	事業名
生涯学習の推進	多様な生涯学習機会の提供	〈生涯学習文化課〉 県民コミュニティカレッジ事業 生涯学習推進センター運営費(学習機会の提供事業、山梨のアイデンティティ形成事業、サテライトスクール事業) キャンパスネットやまなし運営費 生涯学習情報提供事業費(再掲)
	現代的な課題に対応した学習機会の提供	〈社会教育課〉 やまなし女性国際セミナー開催事業費 山梨ことぶき勸学院運営費(再掲) 人権教育促進事業費
	身近な学習機会の充実	〈学術文化財課〉 美術館事業費(教育普及)(再掲) 博物館事業費(教育普及)(再掲) 考古博物館事業費(教育普及)(再掲) 文学館事業費(教育普及)(再掲) ふるさと山梨文化財歴史発見事業費 県立文化施設共通事業費(再掲)
	郷土を学ぶ機会の充実	
	ICTを活用した学習機会の充実	
学習成果の活用支援	学習意欲を促す学習成果の評価	〈生涯学習文化課〉 キャンパスネットやまなし運営費(再掲) 生涯学習情報提供事業費(再掲) 生涯学習推進センター運営費(学習成果活用事業)
	学習成果を生かした社会参加活動の促進	〈社会教育課〉 子育て支援リーダー・ステップアップ事業費(再掲) やまなし学校応援団育成事業(再掲) 放課後子どもプラン推進事業費(再掲) 山梨ことぶき勸学院運営費(再掲)
	地域人材の活用支援	
生涯学習環境の充実	生涯学習施設・体制の充実	〈社会教育課〉 図書館情報ネットワークシステム運営費 社会教育関係団体活性化事業費補助金 山梨ことぶき勸学院運営費 科学館運営費
	生涯学習コンテンツの充実	
スポーツの振興	生涯スポーツの振興	〈スポーツ健康課〉 広域スポーツセンター運営事業費 地域スポーツ推進人材育成・派遣事業費 山梨県スポーツレクリエーション祭実行委員会助成費 いきいき山梨ねりんピック実行委員会事業費補助金 韓国忠清北道スポーツ交流事業費 体育協会助成費 市町村・社会体育関係団体指導事業費 生涯スポーツ情報発信事業費 県立高校施設開放事業費
	総合型地域スポーツクラブの設立・育成	
	広域スポーツセンターの充実	
	参加機会の充実	
	指導者等の養成・確保・活用	
	スポーツ施設の利用拡大・充実	
スポーツ情報提供システムの充実		

施策の柱	施策	事業名		
スポーツの振興	競技スポーツの振興	優秀選手の育成・強化	<スポーツ健康課> 競技力向上費 小中学校体育連盟補助金 高等学校体育連盟補助金 県体育協会補助金(スポーツ医・科学補助事業) 国民体育大会選手派遣費 韓国忠清北道スポーツ交流事業費(再掲) ジュニアアスリート・トータルサポート事業 やまなしスポーツ顕彰事業費	
	スポーツ医・科学の活用	スポーツ交流の推進		
	一貫指導体制の推進	競技力向上を図る指導者の養成		
	優秀選手等の表彰	セカンドキャリア支援の検討		
	文化芸術に親しむ 機会の充実	優れた舞台芸術鑑賞機会の充実		<生涯学習文化課> 県民文化ホール運営管理費 山梨芸術劇場開催費 巡回児童劇場開催費 <学術文化財課> 美術館事業費 博物館事業費 考古博物館事業費 文学館事業費 県立文化施設共通事業費(再掲)
	地域における鑑賞機会の提供	美術館等における魅力ある企画展の開催		
	文化施設等の連携強化	文化活動への支援		
文化活動への支援	文化芸術の教育普及活動の充実	<生涯学習文化課> 県民文化祭費 山梨県芸術文化協会事業費補助金 <国民文化祭課> 国民文化祭費 <学術文化財課> 美術館事業費(教育普及)(再掲) 博物館事業費(再掲) 考古博物館事業費(再掲) 文学館事業費(教育普及)(再掲) 「やまなし文学賞」事業費補助金		
やまなし文学賞の授与	文化ボランティアの育成			
文化ボランティアの育成	発表機会の充実			
発表機会の充実	文化芸術団体への支援			
文化芸術団体への支援	国民文化祭の開催			
国民文化祭の開催	文化財の保存と継承		<学術文化財課> 文化財保護調査費 文化財保存事業費補助金 埋蔵文化財調査費 歴史資料等収集費	
有形文化財の保存・修理・活用	史跡・名勝・天然記念物の保存と活用			
史跡・名勝・天然記念物の保存と活用	埋蔵文化財の調査			
埋蔵文化財の調査	甲斐風土記の丘の整備			
甲斐風土記の丘の整備	富士山の文化的価値の啓発			
富士山の文化的価値の啓発	民俗文化財の保存と継承			
民俗文化財の保存と継承	伝統技術等の保存と継承			

2 「やまなしの教育振興プラン」の進捗状況

(1) 進捗状況の点検

目標となる指標の達成状況を把握しながら、計画に沿って施策・事業が着実に推進されているか、自ら点検・評価を行い、その結果を定例教育委員会で報告及びホームページで公表しました。

また、PDCAサイクルの手法を用いて、平成24年度分については進捗率が50%未満の指標に係る事業等について、進捗率が低い原因を分析し、その結果を踏まえて事業や取組の充実、見直しについて検討を行いました。

(2) 進捗率の計算方法

$$\frac{(\text{平成24年度の現況値}) - (\text{平成19年度の現況値})}{(\text{平成25年度の目標値}) - (\text{平成19年度の現況値})} \times 100$$

(3) 進捗状況

プランに掲げた目標となる指標76項目の進捗状況(事業廃止等の14項目を除く)

進 捗 率	項目数	比率(%)
100%以上	29	38.2
80%以上100%未満	8	10.5
50%以上80%未満	19	25.0
0%以上50%未満	8	10.5
0%未満	12	15.8
計	76	

(4) 主な項目の状況

①進捗率の高いもの	H25目標値	H24現況値
「県民文化祭への参加者数」	220,000 人	241,796 人
「不登校児童生徒の人数(減少数)」(高 校)	280 人	191 人
「県民文化ホールで開催した主催事業への入場者数」	20,000 人	29,277 人
②進捗率の低いもの	H25目標値	H24現況値
「いじめの認知件数」(小学校)	200 件	1,824 件
「いじめの認知件数」(中学校)	230 件	1,540 件
「暴力行為の件数(減少数)」(小学校)	3 件	35 件

施策	指 標	指 標 の 概 要	H19年度 の現況値	H25年度 の目標値	H24年度 の現況値	進捗率 %
◆ 学校教育の充実						
体系的なキャリア教育の推進	夢や目標を持っている状況	・「全国学力・学習状況調査」における「将来の夢や目標を持っている」の設問に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合	小 86.7 %	小 90 %	小 88.9 %	66.7
			中 73.0 %	中 80 %	中 77.4 %	62.9
		・「山梨県公立高等学校教育課程実施状況調査」における「将来の夢や目標を持っている」の設問に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合	高 70.4 %	高 80 %	高 — %	H21年度調査廃止
	インターンシップの実施状況	・就業体験を実施している高校の割合	高 65.6 %	高 80 %	高 76.7 %	77.1
	企業実習への参加状況	・企業等で実習体験をしている生徒の数	高 150 人	高 300 人	高 683 人	355.3
	技術研修への参加状況	・企業等の研修に参加した教員の数	高 162 人	高 180 人	高 130 人	-177.8
確かな学力の育成	国語についての理解の状況	・「全国学力・学習状況調査」における「国語の授業の内容はよくわかる」の設問に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合	小 81.8 %	小 90 %	小 87 %	63.4
			中 72.1 %	中 80 %	中 78.8 %	84.8
		・「山梨県公立高等学校教育課程実施状況調査」における「国語の勉強がどの程度分かるか」の設問に「よく分かる」「だいたい分かる」と回答した生徒の割合	高 57.7 %	高 70 %	高 — %	H21年度調査廃止
	算数(数学)についての理解の状況	・「全国学力・学習状況調査」における「算数(数学)の授業の内容はよくわかる」の設問に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合	小 79.2 %	小 90 %	小 82.3 %	28.7
			中 62.1 %	中 70 %	中 66.4 %	54.4
		・「山梨県公立高等学校教育課程実施状況調査」における「数学の勉強がどの程度分かるか」の設問に「よく分かる」「だいたい分かる」と回答した生徒の割合	高 51.3 %	高 70 %	高 — %	H21年度調査廃止

施策	指標	指標の概要	H19年度の 現況値	H25年度の 目標値	H24年度の 現況値	進捗率 %
確かな 学力の 育成	英語についての 理解状況	・「山梨県公立高等学校教育課程実施状況調査」における「英語の勉強がどの程度分かるか」の設問に「よく分かる」「だいたい分かる」と回答した生徒の割合	高 45.5 %	高 60 %	高 - %	H21年度調査廃止
	評価規準の整備 状況	・学習指導要領に示された目標に沿った指導と評価を実践するために、各教科毎に学力を観点別にとらえた評価規準を整備している学校の割合	小 91.2 %	100 %	小 100 %	100
			中 89.6 %		中 100 %	100
			高 92.5 %		高 99 %	86.7
	家庭学習の取組 状況	・「全国学力・学習状況調査」における「学校の授業時間以外に普段、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしていますか」の設問に「全くしていない」と答えた児童生徒の割合	小 3.6 %	小 2 %	小 3 %	37.5
			中 9.3 %	中 5 %	中 6.5 %	65.1
		・「山梨県公立高等学校教育課程実施状況調査」における「学校の授業以外に、1日だいたいどのくらい勉強しますか」の設問に「全く、または、ほとんどしない」と答えた生徒の割合	高 28.2 %	高 15 %	高 - %	H21年度調査廃止
「総合的な学習 時間」への興味 の状況	・「全国学力・学習状況調査」における「総合的な学習の時間の勉強は好きですか」の設問に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた児童生徒の割合	小 82.4 %	小 90 %	小 - %	H24年度調査廃止	
		中 68.5 %	中 80 %	中 - %		
校種間連携の状 況	・教員や生徒により小中学生への授業等を実施している高校の割合	高 62.1 %	高 80 %	高 73 %	60.9	

施策	指標	指標の概要	H19年度の 現況値	H25年度の 目標値	H24年度の 現況値	進捗率 %
豊かな心の 育成	規範意識の状況	・「全国学力・学習状況調査」における「学校のきまりを守っている」の設問に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合	小 88.8 %	90 %	小 92.9 %	341.7
			中 87.1 %		中 93.7 %	227.6
		・「山梨県高等学校教育課程実施状況調査」における「学校の規則を守っている」の設問に、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した生徒の割合	高 85.2 %		高 - %	H21年度調査廃止
	道徳教育の推進状況	・道徳の授業を地域住民や保護者に公開している学校の割合	小 34.8 % 中 27.1 %	70 %	小 95.1 % 中 84 %	171.3 132.6
	思いやりの心の状況	・「全国学力・学習状況調査」における「人が困っているときは、進んで助けている」の設問に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合	小 82.4 % 中 77.6 %	90 %	小 - % 中 - %	H24年度調査廃止
	豊かな体験活動状況	・「全国学力・学習状況調査」における「海、山、湖、川などで遊んだ経験がある」の設問に「何度もあった」「時々あった」と回答した児童の割合(小学校)	小 84.8 %	90 %	小 - %	H21年度調査廃止
		・「全国学力・学習状況調査」における「海、山、湖、川などに行き、自然の素晴らしさを感じた経験がある」の設問に「何度もあった」「時々あった」と回答した生徒の割合(中学校)	中 86.4 %		中 - %	H21年度調査廃止
高校芸術文化祭への参加状況	・文化部の活動を充実させるために行われている高校芸術文化祭への参加者数	18,416 人	20,000 人	23,994 人	352.1	
いじめの状況	・「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」における公立学校の「いじめの認知件数」	小 251 件	小 200 件	小 1824 件	-3084.3	
		中 319 件	中 230 件	中 1540 件	-1371.9	
		高 169 件	高 100 件	高 141 件	40.6	

施策	指標	指標の概要	H19年度の 現況値	H25年度の 目標値	H24年度の 現況値	進捗率 %
豊かな心の育成	不登校の状況	・「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」における公立学校の「不登校児童生徒」の人数	小 188 人	小 160 人	小 123 人	232.1
			中 995 人	中 700 人	中 652 人	116.3
			高 299 人	高 280 人	高 191 人	568.4
	暴力行為の状況	・「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」における公立学校の「暴力行為」の件数	小 6 件	小 3 件	小 35 件	-966.7
			中 135 件	中 90 件	中 219 件	-186.7
			高 72 件	高 50 件	高 46 件	118.2
読書への取組状況	・「全国学力・学習状況調査」における「家や図書館で、普段、1日あたりどれくらいの時間、読書をしますか」の設問に「全くしない」と答えた児童生徒の割合	小 15.4 %	小 10 %	小 19.3 %	-72.2	
		中 32.5 %	中 20 %	中 26.3 %	49.6	
		・「山梨県公立高等学校教育課程実施状況調査」における「学校の授業以外で1日だいたい、どのくらい読書をしますか」の設問に「全く、または、ほとんどしない」と答えた生徒の割合	高 50.5 %	高 30 %	高 - %	H21年度調査廃止
健やかな体の育成	運動・スポーツの実施状況	・「山梨県新体力テスト・健康実態調査」で授業以外で週3日以上運動・スポーツを実施している小学生(5・6年生)の割合	小 48.2 %	小 65 %	小 47 %	-7.1
	体力・運動能力の状況	・「山梨県新体力テスト・健康実態調査」で小学生(5年生)のボール投げの平均値のピーク時(昭和56年)の値に対する割合	小 81.7 %	小 90 %	小 75.8 %	-71.1
	薬物乱用防止への取組状況	・薬物乱用防止教室を実施している学校の割合	中 29.2 %	中 60 %	中 64.4 %	114.3
			高 87.5 %	高 100 %	高 87.1 %	-3.2
	朝食の摂取状況	・「山梨県新体力テスト・健康実態調査」で児童生徒が朝食を摂取している割合	小 91 %	小 95 %	小 92.4 %	35
			中 84 %	中 90 %	中 88 %	66.7
高 78.3 %			高 90 %	高 84.6 %	53.8	
食育の推進状況	・食に関する指導全体計画を作成している学校の割合	小 64.2 %		小 98.9 %	96.9	
		中 53.8 %	100 %	中 94.2 %	87.4	
		高 10.2 %		高 60.7 %	56.2	

施策	指標	指標の概要	H19年度の 現況値	H25年度の 目標値	H24年度の 現況値	進捗率 %
特別支援教育の充実	「個別指導計画」の作成状況	・一人ひとりの児童生徒の障害の状態や発達段階等に応じた学習指導を行うための「個別の指導計画」を作成している小中学校の割合	小 57.2 % 中 39.8 %	70 %	小 84 % 中 80 %	209.4 133.1
	「個別教育支援計画」の作成状況	・一人ひとりの児童生徒の教育的ニーズに応じ、関係機関が連携して適切な指導及び必要な指導を行うための「個別の教育支援計画」を作成している小中学校の割合	小 46.2 % 中 35.7 %	70 %	小 78.2 % 中 77.8 %	134.5 122.7
	自立と社会参加の状況	・県立特別支援学校高等部の新卒生徒の就職割合	14.6 %	20 %	22 %	137
時代の要請に応える教育の推進	環境教育への取組状況	・省エネ・省資源活動等に取り組んでいる学校の割合	小 87.8 %	100 %	小 95.7 %	64.8
			中 84.4 %		中 95.4 %	70.5
			高 75.9 %		高 96.4 %	85.1
	福祉教育への取組状況	・福祉の心を培い、福祉の実践力を高めるための福祉教育に取り組む高校の割合 ※ 小・中は100%達成済	高 92 %	高 100 %	高 100 %	100
	情報教育への対応状況	・コンピュータや提示装置等を活用して指導する能力を持つ教員の割合	小 56.8 %	小 70 %	小 64.1 %	55.3
中 56.3 %			中 70 %	中 62.5 %	45.3	
高 64.3 %			高 80 %	高 65.3 %	6.4	
高大連携への取組状況	・大学教員による授業を取り入れている高校の割合	高 69 %	高 80 %	高 87 %	163.6	
学校教育の環境整備	学校評価及び公表への取組状況	・教育活動に係る自己評価に対する学校関係者評価を実施・公表している学校の割合	小 39.9 %	100 %	小 87.5 %	79.2
			中 43.8 %		中 86.2 %	75.4
			高 71.7 %		高 100 %	100

施策	指 標	指 標 の 概 要	H19年度 の現況値	H25年度 の目標値	H24年度 の現況値	進捗率 %
◆ 家庭・地域・学校の連携						
へ 幼 児 教 育 支 援 ・ 家 庭 教 育	保・幼・小の連携 状況	・保育所や幼稚園との交流活動を年 に3回以上行った小学校の割合	小 39 %	小 60 %	小 82.6 %	207.6
	ふれ合い体験の 実施状況	・乳幼児とのふれ合い体験を実施し ている高校の割合	高 79.3 %	高 100 %	高 100 %	100
の 地 域 全 体 で 取 り 組 む 教 育	学校応援団の取 組状況	・様々な知識や技能を持つ地域住 民が学校や家庭、地域に貢献でき るための仕組みづくりに取り組んだ 市町村の割合	0	100 %	100 %	100
	開かれた学校づ くりのための取組 状況	・学校のホームページで情報提供を 行っている学校の割合 ※ 高校は100%達成済	小 62.2 % 中 60.2 %	80 %	小 75.5 % 中 71.3 %	74.7 56.1
◆ 生涯学習の推進						
体 制 の 学 習 充 実 推 進	自主的な学習活 動への取組状況	・「やまなしまナビネットワークシス テム」で提供している学習機会や人材 等の学習情報へのアクセス件数	836,370 件	1,000,000 件	387,853 件	-274.1
習 多 機 会 の 生 涯 学 習	多様な学習活動 への取組状況	・県、市町村、大学、民間団体等が 連携し、多様な学習機会を提供する 「キャンパスネットやまなし」に入学し た人の数(累計)	3,098 人	5,000 人	4,992 人	99.6
学 習 成 果 の 活 用 支 援	学習活動に意欲 的に取り組んで いる状況	・「キャンパスネットやまなし」におい て所定の単位を取得し、奨励賞を交 付された学習者の数(累計)	1,154 人	2,300 人	2,612 人	127.2
	学校応援団の取 組状況【再掲】	・様々な知識や技能を持つ地域住 民が学校や家庭、地域に貢献でき るための仕組みづくりに取り組んだ 市町村の割合	0	100 %	100 %	100

施策	指標	指標の概要	H19年度の 現況値	H25年度の 目標値	H24年度の 現況値	進捗率 %
◆ スポーツの振興						
生涯スポーツの振興	総合型地域スポーツクラブの設置状況	・いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができるよう、総合型地域スポーツクラブを設置している県内市町村の割合	53.6 %	100 %	82.5 %	62.3
	スポーツへの取組状況	・週1回以上スポーツを実施している成人の割合	32.4 %	50 %	- %	H24年度調査なし
競技スポーツの振興	競技レベルの状況	・国民体育大会における個人、団体の上位8位以内の入賞数	83 人・団体	100 人・団体	72 人・団体	-64.7
	アンチ・ドーピングへの取組状況	・選手、指導者がアンチ・ドーピングへの意識啓発のための講習会に参加している県内競技団体の割合	70 %	100 %	100 %	100
	一貫指導体制の推進状況	・トップレベルの競技者の養成・確保のための一貫指導体制を確立している競技団体の割合	55 %	100 %	78 %	51.1
◆ 文化の振興						
文化会場の充実	舞台芸術公演への県民の参加状況	・県民文化ホールで開催した主催事業への入場者数	17,951 人	20,000 人	29,277 人	552.8
文化活動への支援	博学連携の実施状況	・県立博物館と連携して教育活動を行っている学校の割合	小 40 % 中 34 % 高 31 %	50 %	小 49.2 % 中 48.8 % 高 23 %	92 92.5 -42.1
	県民文化祭への参加状況	・県民の文化芸術活動の発表及びその鑑賞の場である県民文化祭への参加者数	218,973 人	222,000 人	241,796 人	754
文化財の保存と継承	文化財の保存・活用状況	・県内の国・県指定文化財の件数	660 件	690 件	670 件	33.3